

校訓	自分を育て 自分を生かし 社会を明るく	令和5年度学校だより 「天の子」 第2号	発行日	令和5年4月13日
教育目標	夢と誇りのある生徒の育成 ～自ら学び、考え、行動する力と、豊かな心を育む～		発行者	伊丹市立天王寺川中学校 校長 前田 徳三

【新入生「誓いのことば」】

入学式での新入生たちの希望に満ちた明るく、輝く目に私自身が照らされて、元気をもらい自分も輝けたような気がしました。全ての教師が同じ思いだと思います。これからの3年間、責任を持って子どもたちをお預かりいたします。今年度も学校と家庭の連携を是非ともよろしくお願いいたします。新入生代表の富永樹さんが立派に述べてくれた「新入生誓いのことば」を紹介いたします。

新入生代表 誓いの言葉

春の暖かな日差しが感じられる、このよき日に、私たち新入生257名は、伊丹市立天王寺川中学校に入学することができました。本日は、私たちのために、このような華やかな入学式を開いていただき、ありがとうございます。ようやく新型コロナウイルスによる規制が緩和されはじめ、少しずつ日常が戻ってきました。そんな中で、中学生になれたことを、心からうれしく思っています。そして、校長先生をはじめ、たくさんの方々から、はげましの言葉をいただき、今、私たちの目の前には、夢が大きく広がっています。今から、この場をお借りして、みなさんの前で、新入生の「三つの目標」を発表したいと思います。

一つ、勉強にも部活動にも、全力で取り組み、文武両道を目指します。中学校では、教科ごとに先生が違い、小学校のときよりも学習内容も難しくなり、覚えることも多くなるのではないかと、少し不安を感じています。しかし、それと同時に、新しいことを学ぶということにワクワクもしています。そのため、これからは、毎日の予習・復習をしっかりとて、学習習慣を身につけ、わかるまでしっかりと努力したいと考えています。また、部活動でも、コツコツと日々の練習にはげみ、先輩や、同級生と一緒に切磋琢磨して、心身ともに強くなりたいです。

二つ、体育大会、合唱コンクール、トライやるウィークなどの行事に積極的に参加し、行事を成功させて、自分たちの力を高めます。中学校では、小学校とは違い、自立する力が求められます。そのためには、テキパキと行動し、今、何をすべきなのかを自分で考えて、行動できるようになりたいです。そして、個々の力を高め、学年の力を高めたいです。

三つ、たくさんの友達をつくり、考え方が違う人の意見にも耳を傾け、理解するように努めます。天王寺川中学校は、主に三つの小学校からたくさんの方が集まっています。そのため、人間関係が広がり、意見のぶつかり合いがあるかもしれません。しかし、そんなときでも、しっかりと話し合いをして、相手の立場に立って、物事を考えることができるように、優しく強い人になりたいと思います。

以上の三つの目標を、常に心に持ちながら、充実した中学校生活を送れるように、仲間と支え合い、はげまし合って、頑張っていきたいと思います。先生方、先輩方、私たち第55回生のことを見守り、導いてくださいますようよろしくお願いいたします。

【本校職員の紹介】

本年度、天王寺川中学校は、生徒数が1年生 257 名、2年生 284 名、3年生 288 名の計 829 名で、学級数は全年生とも7クラス、特別支援学級が6クラスの計 27 クラスです。また、以下の職員で今年度、学校を運営いたします。

〔個人情報保護のため割愛しています〕